



一般質問

我妻弘國 議員

問 県水球プールを障害者と付添いの方に無料で、65歳以上の方々には減免での開放を要望。

答 県側に減免措置を要望しており、実現した時には仙台大学の協力を得て施設を運営したい。

問 西住地区と新栄通線を結ぶ新道路の建設を考えてはどうか。

答 地域生活の強化、地域発展を考えて将来の新道路建設計画を研究してみたい。

太田研光 議員

問 町長は町内の会合に出席し、「合併のための住民投票に意欲を」と報じられているが。

答 住民投票をするぐらいの町民の盛り上がりがないと、新市は難しい主旨で発言した。

舟山邦夫 議員

問 なぜ貸した町有地。ホテル原田駐車場。

答 平成6年に町が約1億2,640万円で取得。遊休地化を防ぐ為、年約169万円で貸した。

問 高すぎる保育所の保育料。

答 特に柴田町が高いというわけではない。

問 週3回から週2回になぜ変えたの、燃えるゴミ。

答 ビンの資源化率を高めるため、月1回から月3回の色別回収にした。

杉本五郎 議員

問 介護保険制度は要介護者のニーズと被保険者の意向を集めて作り上げていくべきものだ。

答 公募による策定委員の中に、現に要介護者を抱えている方や、被保険者も含まれている。

小丸 淳 議員

問 学校体育施設の開放日等の見直し並びに運動場利用者に対するトイレ利用の改善措置を。

答 現状に即した規則の改正を行う。トイレ利用に関しては調整会議の際に再度徹底を図る。

佐藤輝雄 議員

問 社会教育関係の貸し館の代行員勤務時間を利用者の利便を考え、ずらせないか。

答 利用者と管理する方の終了時間の同一には無理があり、検討する。

問 貸し館に設置しているピンク電話は押しなべて大幅赤字なので撤収し、代替案を考えては。

答 利用者の多い槻木文化センターと柴田町コミセンは残し、他はそのように考えたい。

白内恵美子 議員

問 「子どもの権利条約」の理念と精神を生かした、子育て・子育ての理念の確立を。

答 子どもの施策に責任を持つ部署を明確にし、部局・課を超えた横断的組織作りを検討する。

問 一人ひとりの子どもを大切に育むため、子育てを支援する「子育てサポーター」の導入を。

答 町の子育て支援事業はまだ不十分である。「子育てサポーター」は16年度より導入する。

星 吉郎 議員

問 県営水球プールの活性化と管理負担問題をどう進めていくのか。

答 町民の健康増進のため一層の努力を図り県との交渉も負担割合を変えないよう努力する。

加茂紀代子 議員

問 観光素材の多い柴田町。観光客の誘致とPR、四季を通しての観光計画とマップは。

答 多種のPRをした桜まつりは、多くの客が来町した。やる気がおもてなしになる。

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。